



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月2日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8242 URL <https://www.h2o-retailing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒木 直也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉松 宏之 (TEL) 06-6365-8120
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	154,813	3.7	4,758	616.4	5,192	178.0	3,371	417.6
2023年3月期第1四半期	149,352	30.7	664	—	1,867	—	651	△89.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10,413百万円(85.0%) 2023年3月期第1四半期 5,627百万円(133.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	29.11	28.88
2023年3月期第1四半期	5.29	5.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	682,281	278,678	37.4
2023年3月期	686,423	272,814	36.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 255,148百万円 2023年3月期 248,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	322,000	5.8	7,000	528.3	6,700	136.3	2,000	△28.3	17.36
通期	675,000	7.5	19,000	66.8	18,500	42.3	9,500	△42.0	82.46

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 業績予想の修正につきましては、本日(2023年8月2日)公表いたしました「2024年3月期 第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注3) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は、第2四半期(累計)が496,000百万円(対前年同四半期増減率7.5%)、通期が1,040,000百万円(対前期増減率6.2%)であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	125,201,396株	2023年3月期	125,201,396株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	9,988,568株	2023年3月期	8,813,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	115,801,719株	2023年3月期1Q	123,215,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(追加情報)	9

1. 経営成績の状況

▶売上高

当社グループの売上高は、154,813百万円（前期比103.7%）、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は244,693百万円（前期比107.4%）となりました。百貨店事業では堅調な国内消費に加え、免税売上高の回復が進んだことで売上高が伸長、食品事業では単価の上昇により既存店は前年を上回って推移し、連結全体で増収となりました。

▶営業利益及び経常利益

営業利益は百貨店事業の売上伸長に伴う利益改善に加え、各セグメントで増益となった結果、4,758百万円（前期比716.4%）と大幅な増益となり、経常利益は5,192百万円（前期比278.0%）となりました。

（百貨店事業）

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり人流が回復に向かう中、国内売上は好調に推移しました。また、免税売上高も高額商材を中心に回復が進み、コロナ前の2018年度実績を上回りました。

阪急本店では、外出ニーズの本格化により全てのカテゴリーが前年を上回って推移しました。化粧品を含めファッション全般が好調で、ジュエリーや時計、ラグジュアリーブランドファッション等の売上も引き続き伸長しています。

販売費及び一般管理費については、光熱費や売上増加に伴う販売手数料等が増加したものの、宣伝費等のコストコントロールに努め計画を下回りました。

以上の結果、総額売上高は123,508百万円（前期比113.6%）、営業利益は3,296百万円（前期比269.3%）となりました。

（食品事業）

食品事業は、総額売上高が103,098百万円（前期比101.8%）、営業利益は1,842百万円（前期比432.2%）となりました。

食品スーパーを経営するイズミヤ・阪急オアシス株式会社、株式会社関西スーパーマーケットでは、値上げの影響による客単価上昇トレンドの継続と前年はコロナ感染者減少に伴う内食需要の減退により売上が苦戦した反動もあり、既存店売上は前年を上回って推移しました。

イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスは2023年4月に合併し、イズミヤ・阪急オアシス株式会社となりました。組織・人事の一元化、営業本部機能の効率化や屋号を超えたエリア単位での店舗運営等の取り組みを推進しています。

イズミヤ・阪急オアシス株式会社の既存店売上高前年同期比は103.5%（客数99.8%、客単価103.7%）となりました。構造改革途上であるイズミヤと阪急オアシスでは、チェーンオペレーションの徹底による生産性の改善、商圈特性に応じたMD再構築による売上増加と粗利率改善、及び更なる仕入統合による粗利率改善、経費の見直し等の施策に取り組みました。販売費及び一般管理費については、引き続き要員体制の最適化に取り組み、人件費が計画以上の削減となり、前年実績、計画ともに下回りました。

株式会社関西スーパーマーケットでは、「健康経営」「生産性の向上」「教育」を3つの柱に掲げ、7連休の取得推進や禁煙サポートの実施、電子棚札導入店舗拡大に向けた実証実験、経営幹部と情報共有及び意思統一を図ることを目的とした「店長・副店長・チーフ研修会」の実施等に取り組みました。

既存店売上高前年同期比は103.7%（客数99.0%、客単価104.7%）となりました。販売費及び一般管理費については、光熱費が増加した一方で、全体的なコストコントロールにより、前年実績、計画ともに下回りました。

なお、食品スーパー2社では、当連結会計期間において改装を3店舗で実施しました。

食品製造子会社は、株式会社阪急デリカアイや株式会社阪急ベーカリーにおいて、専門店売上が好調となり、増益となりました。

(商業施設事業)

商業施設事業は、総売上高8,087百万円(前期比88.7%)、営業利益1,020百万円(前期比171.2%)となりました。イズミヤのショッピングセンター運営と衣料品・住居関連品販売及びテナント管理を行う株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発において、収益力強化、費用の適正化、地域との連携強化に取り組みました。テナントの売上拡大に向けた取り組みや新規イベント区画の設置は計画以上の実績となったものの、直営売場の縮小やイズミヤショッピングセンターの店舗閉鎖により減益となりました。ビジネスホテルを運営する株式会社大井開発では、ビジネス・観光ともに宿泊需要が戻る中、機動的な価格施策による需要の積極的な取り込みが奏功し、客室稼働率が90%を超えて推移し、増収増益となりました。

(その他事業)

その他事業は、総売上高9,998百万円(前期比113.5%)、営業利益2,165百万円(前期は営業損失769百万円)となりました。新型コロナウイルスの影響が薄れ、専門店子会社が増収となり、持株会社である当社を除いたその他事業の子会社で、177百万円の増益となり、その他事業としては増益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益として株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発の土地建物売却等で固定資産売却益723百万円を計上した一方で、特別損失として阪急本店の改装や神戸阪急・高槻阪急のリモデル改装等に伴う固定資産除却損398百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,371百万円(前期比517.6%)となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年6月30日)における当社グループの連結業績は、売上高につきましては概ね計画通りに推移し、販売費及び一般管理費につきましては、百貨店事業・食品事業を中心にコスト削減に努めた結果、計画を下回って推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、計画を上回る進捗となりました。これを受けて、第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(2023年8月2日)公表いたしました「2024年3月期 第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,670	44,740
受取手形及び売掛金	68,572	69,216
商品及び製品	19,800	20,956
仕掛品	149	166
原材料及び貯蔵品	1,285	1,160
未収入金	8,055	8,396
その他	5,306	6,110
貸倒引当金	△430	△537
流動資産合計	161,408	150,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	125,783	126,772
機械装置及び運搬具（純額）	2,839	2,849
土地	162,665	161,407
建設仮勘定	1,465	1,093
その他（純額）	10,498	10,358
有形固定資産合計	303,253	302,481
無形固定資産		
のれん	1,690	1,563
その他	18,074	19,739
無形固定資産合計	19,764	21,302
投資その他の資産		
投資有価証券	101,249	110,022
長期貸付金	11,454	10,289
差入保証金	70,903	70,151
退職給付に係る資産	4,548	4,797
繰延税金資産	14,901	14,099
その他	1,683	1,656
貸倒引当金	△2,743	△2,728
投資その他の資産合計	201,997	208,288
固定資産合計	525,015	532,072
資産合計	686,423	682,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,674	58,208
1年内返済予定の長期借入金	15,350	15,350
未払金	27,877	23,347
リース債務	839	797
未払法人税等	5,395	733
商品券	8,908	8,924
前受金	32,820	37,172
賞与引当金	4,740	3,596
役員賞与引当金	109	46
店舗等閉鎖損失引当金	1,947	760
人事制度改編費用引当金	682	142
資産除去債務	570	483
その他	13,139	14,445
流動負債合計	176,055	164,008
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	143,917	143,792
長期末払金	325	197
リース債務	10,280	10,099
繰延税金負債	31,735	34,723
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	207	186
商品券等回収引当金	3,247	3,287
長期預り保証金	10,572	10,244
退職給付に係る負債	13,028	12,927
資産除去債務	3,444	3,390
その他	526	478
固定負債合計	237,553	239,594
負債合計	413,608	403,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	94,882	94,692
利益剰余金	105,473	107,389
自己株式	△11,938	△13,799
株主資本合計	206,213	206,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,925	48,957
土地再評価差額金	303	303
為替換算調整勘定	1,188	1,550
退職給付に係る調整累計額	△1,808	△1,742
その他の包括利益累計額合計	42,608	49,068
新株予約権	1,200	1,178
非支配株主持分	22,792	22,352
純資産合計	272,814	278,678
負債純資産合計	686,423	682,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	149,352	154,813
売上原価	87,808	88,054
売上総利益	61,544	66,759
販売費及び一般管理費	60,880	62,001
営業利益	664	4,758
営業外収益		
受取利息	140	77
受取配当金	627	661
諸債務整理益	206	125
為替差益	739	71
その他	191	135
営業外収益合計	1,904	1,071
営業外費用		
支払利息	245	223
商品券等回収引当金繰入額	162	88
持分法による投資損失	114	18
その他	178	307
営業外費用合計	701	638
経常利益	1,867	5,192
特別利益		
固定資産売却益	-	723
助成金収入	49	-
特別利益合計	49	723
特別損失		
固定資産除却損	482	398
新型コロナウイルス感染症による損失	146	-
新店舗開業費用	107	-
店舗等閉鎖損失	4	-
特別損失合計	740	398
税金等調整前四半期純利益	1,175	5,516
法人税、住民税及び事業税	512	510
法人税等調整額	△85	1,078
法人税等合計	426	1,589
四半期純利益	749	3,927
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	555
親会社株主に帰属する四半期純利益	651	3,371

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	749	3,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,910	6,058
為替換算調整勘定	282	166
退職給付に係る調整額	84	65
持分法適用会社に対する持分相当額	600	195
その他の包括利益合計	4,878	6,486
四半期包括利益	5,627	10,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,548	9,831
非支配株主に係る四半期包括利益	79	581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	商業施設 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	34,660	97,611	8,633	7,300	148,205	1,147	149,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	992	2,641	4,916	8,705	△8,705	—
計	34,815	98,603	11,274	12,217	156,910	△7,557	149,352
セグメント利益又は 損失(△)	1,224	426	596	△769	1,477	△812	664

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び事業セグメントで代理人取引として純額表示した外部顧客への売上高のうち連結決算では本人取引となる取引(セグメント間での消化仕入契約に基づく取引)の外部顧客への売上高を四半期連結損益計算書で総額表示に組替えるための調整額であります。

2. セグメント売上高及び利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上高、営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	商業施設 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	38,261	99,329	7,667	8,549	153,807	1,005	154,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165	663	2,490	8,114	11,433	△11,433	—
計	38,426	99,992	10,158	16,664	165,241	△10,427	154,813
セグメント利益	3,296	1,842	1,020	2,165	8,325	△3,566	4,758

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び事業セグメントで代理人取引として純額表示した外部顧客への売上高のうち連結決算では本人取引となる取引(セグメント間での消化仕入契約に基づく取引)の外部顧客への売上高を四半期連結損益計算書で総額表示に組替えるための調整額であります。

2. セグメント売上高及び利益は、四半期連結損益計算書の売上高、営業利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社の連結子会社である株式会社関西フードマーケットは、2022年11月1日開催の同社取締役会において、同社の連結子会社である株式会社阪急オアシスを存続会社、同じく同社の連結子会社であるイズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2023年4月1日付で吸収合併及び存続会社の商号変更を行いました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	株式会社阪急オアシス
事業の内容	スーパーマーケットの運営
被結合企業の名称	イズミヤ株式会社
事業の内容	スーパーマーケットの運営

(2) 企業結合日

2023年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社阪急オアシスを存続会社、イズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

イズミヤ・阪急オアシス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社阪急オアシス及びイズミヤ株式会社は、従来から、お客様起点で店舗フォーマットを見直し、オペレーションの再構築を実現するため、事業構造改革に取り組んでおります。

この度、更なる経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を図るため、両社を合併することといたしました。2023年にはシステム統合も予定しており、現在取り組み途上の商品・業務フロー等においてもより効率的な取り組みを進め、人的投資とともに生産性を高め、成長への礎を固めてまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(追加情報)

(固定資産の譲渡)

当社は、2021年11月24日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社阪急阪神百貨店が保有する固定資産の譲渡を決議いたしました。概要は以下のとおりです。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産の効率化と財務体質の強化を図るため。

2. 譲渡契約の概要

譲渡契約日 : 2021年11月24日

対象資産の種類(現況) : 土地

対象資産の所在地 : 大阪市福島区鷺洲1丁目32-13

譲渡日 : 2023年12月下旬

譲渡価格及び譲渡の相手先 : 譲渡先に対する守秘義務により開示はできませんが、入札による公正な方法により、譲渡先の選定、譲渡価格の決定を行っております。

3. 損益に与える影響

譲渡日の属する2024年3月期第3四半期連結会計期間において、固定資産売却益約33億円を特別利益に計上する予定です。